

Takata

こうほうりくぜんたかた



10

OCTOBER 2026

No.1220

RIKUZENTAKATA



気仙地区中学校駅伝競走大会 兼

岩手県中学校駅伝競走大会予選会

※関連ページ（P 25）

特集

立教大生と市民が多彩な事業で交流

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



陸前高田市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

令和8年

陸前高田市 市勢功労者

長年にわたり市勢の発展に寄与された方々に、敬意と感謝の意を表すため行われている市勢功労者表彰。

本年は自治教育文化・産業・民生・治安の4分野 18人が選ばれ、10月7日(水)に奇跡の一本松ホールで表彰式が行われます。



自治教育文化功労者
(統計)



村上恭一郎 さん(77)
気仙町(荒川)

平成6年から現在までの32年間にわたり、国勢調査などの各種統計調査に携わりました。調査の重要性・必要性を十分に認識し、調査に当たっては迅速な報告に努められ、統計調査の普及に尽力しています。



自治教育文化功労者
(統計)



佐々木金雄 さん(77)
竹駒町(細根沢)

平成9年から令和7年までの28年間にわたり、国勢調査などの各種統計調査に携わりました。調査の重要性・必要性を十分に認識し、調査に当たっては迅速な報告に努められ、統計調査の普及に尽力しました。



自治教育文化功労者
(統計)



金野 輝夫 さん(75)
米崎町(野沢)

平成元年から現在までの37年間にわたり、国勢調査などの各種統計調査に携わりました。調査の重要性・必要性を十分に認識し、調査に当たっては迅速な報告に努められ、統計調査の普及に尽力しています。



自治教育文化功労者
(統計)



熊谷 孝也 さん(66)
竹駒町(細根沢)

平成5年から現在までの33年間にわたり、国勢調査などの各種統計調査に携わりました。調査の重要性・必要性を十分に認識し、調査に当たっては迅速な報告に努められ、統計調査の普及に尽力しています。



自治教育文化功労者
(コミュニティ)



新沼 幸男 さん(85)
米崎町(高畑)

平成21年から平成26年まで米崎地区コミュニティ推進協議会副会長、平成26年から令和8年まで同会長、平成30年から令和4年まで市コミュニティ推進協議会連合会会長を歴任し、活発なコミュニティ活動と円滑な運営に尽力しました。



自治教育文化功労者
(社会教育)



佐藤 圭子 さん(73)
竹駒町(下壺)

平成26年から令和8年までの12年間にわたり、社会教育委員を務めました。地域社会の発展に寄与するとともに、卓越した識見をもって市の社会教育の振興に尽力しました。



産業功労者
(水産)



戸羽 幹二 さん(71)
小友町(谷地館)

平成7年1月からワカメ養殖漁業に従事し、いち早くポイルワカメの生産に取り組み、漁業収入の増加と養殖漁業の発展に尽力するとともに、平成29年から令和8年まで広田湾漁業協同組合の理事及び小友只出地区開口委員長を務め、漁協経営と組合員の指導に尽力しました。



産業功労者
(商業)



菅原弘志 さん(享年83)
高田町(山苗代)

平成2年から令和8年までの36年間にわたり、陸前高田商工会監事を務めました。東日本大震災からの復興期間には、卓越した指導力のもと、商工会の早期復興及び運営の安定化に尽力しました。



産業功労者
(職業訓練)



村上 義文 さん(74)
高田町(荒沢)

平成6年から平成20年まで陸前高田職業訓練協会理事、平成20年から平成30年まで同副会長、平成30年から令和4年まで同会長を務めました。東日本大震災からの復興期間には、副会長、会長として、卓越した指導力のもと、職業訓練校の早期再開及び運営の安定化に尽力しました。



民生功労者
(民生)



及川カヨ子 さん(78)
横田町(舞出)

平成25年から令和7年までの12年間にわたり、民生委員・児童委員を務めました。社会奉仕の精神により常に住民の立場に立った支援活動を実施するなど、地域における社会福祉の増進に尽力しました。

昭和59年に消防団入団以来、38年間にわたり消防業務に精励しました。令和元年からは矢作分団長を務め、団員の指導育成、組織の充実強化、地域住民への防火思想の普及に尽力しました。



さとう みつひろ
佐藤 光浩 さん(64)
矢作町(片地家)



治安功労者

(消防)

平成4年に消防団入団以来、27年間にわたり消防業務に精励しました。平成29年からは気仙分団長を務め、団員の指導育成、組織の充実強化、地域住民への防火思想の普及に尽力しました。



とのお よしき
遠野 善喜 さん(66)
気仙町(福伏)



治安功労者

(消防)

平成10年から令和7年までの27年間にわたり、民生委員・児童委員を務めました。社会奉仕の精神により常に住民の立場に立った支援活動を実施するなど、地域における社会福祉の増進に尽力しました。



おいかわ のぼる
及川 昇 さん(76)
横田町(砂子田)



民生功労者

(民生)

平成25年から令和7年までの12年間にわたり、民生委員・児童委員を務めました。社会奉仕の精神により常に住民の立場に立った支援活動を実施するなど、地域における社会福祉の増進に尽力しました。



くまがい けんいち
熊谷 賢一 さん(77)
気仙町(川口)



民生功労者

(民生)

褒章

各分野の進展に長年にわたり貢献してきた1人、1団体が、褒章を受章しました。



令和7年秋の褒章
緑綬褒状

(社会奉仕活動功績)

子ども読書支援グループ
おはなしペパン

米崎町(地竹沢)



おいかわ のぼる
及川 昇 さん(76)
横田町(砂子田)



令和7年秋の褒章
藍綬褒章

(社会福祉功績)

平成5年の設立以来、子ども読書支援グループとして長きにわたり、図書館での定例おはなし会や保育園・小学校での訪問おはなし会を実施し、読み聞かせやストーリーテリングなどを通じて、心豊かな子どもの育成と読書活動推進に寄与しています。

平成10年から民生・児童委員を務め、東日本大震災時には住民に寄り添い組織を牽引したほか、保護司や陸前高田市保育協会会長、横田地区コミュニティ推進協議会会長などの要職を歴任しています。長年にわたり、地域福祉の向上や児童福祉の充実、さらには地域社会全体の発展に寄与しています。

褒章とは…
社会や公共の福祉・文化などに貢献した方を顕彰する、日本の栄典のひとつです。
特に、藍綬褒章は会社経営、各種団体での活動を通じて、産業の振興、社会福祉の増進等に優れた業績を挙げた方や、保護司、民生・児童委員、調停委員などの事務に尽力した方を対象としています。
緑綬褒章は長年にわたり社会に奉仕する活動に従事し、顕著な実績を挙げた方を対象としています。
※褒章を授与される方が団体などの場合は、「褒状」が授与されます。

昭和57年から現在までの44年間にわたり、吉田歯科医院で地域医療を推進しています。また、市内小中学校の学校医を務めるとともに、市歯科保健事業に貢献するなど、市民の健康増進に寄与しています。



よしだ まさのり
吉田 正紀 さん(76)
高田町(鳴石)



民生功労者

(医療)

昭和63年から現在までの38年間にわたり、鵜浦医院で地域医療を推進しています。また、市内小中学校の学校医や市健康づくり推進協議会委員を多年にわたり務めるなど、市民の健康増進に寄与しています。



うのうら あきら
鵜浦 章 さん(76)
高田町(大隅)



民生功労者

(医療)

昭和60年から現在までの41年間にわたり、広田歯科医院で地域医療を推進しています。また、市内小中学校の学校医を務めるとともに、市歯科保健事業に貢献するなど、市民の健康増進に寄与しています。



おおわだ こうし
大和田剛史 さん(71)
米崎町(高畑)



民生功労者

(医療)

昭和61年から現在までの40年間にわたり、気仙歯科クリニックで地域医療を推進しています。また、市内小中学校の学校医を務めるとともに、市歯科保健事業に貢献するなど、市民の健康増進に寄与しています。



ば ば さとし
馬場 智 さん(74)
米崎町(地竹沢)



民生功労者

(医療)

立教大生と市民が多彩な事業で交流

立教野球教室 in 陸前高田



本年も立教大学の野球部の皆さんが本市の中学生向けに野球教室を開催しました。

本年度13回目となる本教室は、8月6日(木)に楽天イーグルス奇跡の一本松球場で開催され、市内両中学校の野球部39人が参加しました。

教室では、大学生からのアドバースや声掛けを受けながら、打撃や守備などの練習を行いました。練習の後には、大学生がバッティングや守備などを披露し、レベルの高いプレーに中学生は目を輝かせながら歓声をあげていました。



かのりゅうき
菅野 竜輝 さん
(コミュニティ福祉学部3年)
(陸前高田市出身)

地元の中学生に教えるのは言語化やコミュニケーションの難しさもありましたが、一緒に楽しく野球ができました。堅苦しくならないよう会話も取り入れ、まずは楽しくやってもらうことが1番です。

春のリーグ戦で目指していた神宮デビューを果たし、大学で自分の投球に自信ができました。最大の武器である最速155キロの直球を生かし、秋のリーグ戦は防御率0点で終わりたいです。将来の目標はドラフト1位でプロに入り、その後しっかり活躍することです。

離れていても応援してくれる地元の皆さんのためにも、プロのマウンドに立ち、プレーで恩返しができるよう頑張ります。



すずき ひりゅう
鈴木 鳳龍 さん
(高田一中2年)

立教大学の野球部の皆さんはみんな元気にスムーズにミスなく練習に取り組んでいた。キャプテンとしてチームを引っ張るように今後の練習に取り組んでいきたい。

立教大生



地域の子どもたちを楽しんでもらえたことが何よりの成果。初開催ということもあり、改善点などもいくつか認識できたので、来年以降はさらにより良いプログラムとなるように展開したい。



さいとう けんすけ
斎藤 健介 さん
(社会学部3年)

立教ローバース

立教大学のボーイスカウト団体「立教ローバース」が企画運営する本イベントは、8月18日(火)に開催され、市内の小学生21人と大学生14人が参加しました。

本イベントは、同団体に所属する学生から「陸前高田市の持つ豊かな自然と文化のフィールドを生かして、地域の枠を超えた子どもたちと大学生の触れ合い行事を行いたい」との申し出があり、初めて開催されました。

当日は天候にも恵まれ、陸前高田ワタミオーガニックランドで、テントの設営体験やアウトドアギアを使ったカレー作り体験を行ったほか、立教大学陸前高田サテライトや旧吉田家住宅主屋などを巡る宝探しオリエンテーリングなどを行い、賑やかに交流を深めました。



むらかみ せいや
村上 晴哉 さん
(広田小3年)

初めての体験が多くて、とても勉強になった。また大学生のお兄さんお姉さんと一緒にキャンプを楽しみたい。



8月24日(月)から28日(金)にかけて、8人の大学生が生産地区内の「立教の森」などで林業体験に参加。

学生たちは、いわて森の達人佐藤隆雄さんや生産地区の皆さんなどから間伐作業や下刈りなどについて指導を受けながら、集中して作業に取り組みました。

また、26日(水)には、学生たちが市役所を訪れ、第20回の林業体験を記念して製作した、チェーンソーアート「のくろう像」を市へ寄贈しました。

立教大学第21回林業体験

初めての伐採作業は細い木でも大変だったが、森林組合の方々の丁寧な指導がありがたかった。また、林業が森林保全にも必要だと学んだ。これからもこの大切な仕事が続いてほしい。



かとう あい
加藤 葵 さん
(法学部2年)



とだか よしはる
戸高 由晴 さん
(観光学部3年)

地域の皆さんに見守っていただいたおかげで、安心して作業に取り組めた。皆さんが自然に丁寧に向き合う姿勢を実感し、林業の大切さを再確認した。

市営住宅とみなし特定公共賃貸住宅の入居者を募集しています



◆募集期間および対象住宅(定期募集) 10月19日(月)～30日(金)まで

町名	団地名	建築年度	構造	市営住宅					みなし特定 公共賃貸住宅
				1DK	2DK	3DK	ペット可	車いす対応	
高田町	下和野	H 26	RC	1戸	—	1戸	—	—	常時申し込み を受け付けて います。
	中田	H 27	RC	—	—	2戸	1戸(3DK)	—	
気仙町	水上	H 26	RC	—	—	1戸	—	—	
	今泉	H 28	RC	—	1戸	1戸	—	—	
米崎町	脇の沢	H 29	RC	—	1戸	—	—	—	
小友町	柳沢前	H 26	RC	—	1戸	—	—	—	
広田町	田端	H 27	RC	—	1戸	—	—	—	

◆家賃…入居世帯の総所得、団地、間取りによって決定します。世帯ごとに異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

◆申込資格(下記の全てに該当する人)

(1) 市営住宅(住宅に困窮する低額所得者を対象とした住宅)

- ①入居しようとする世帯全員の所得総額が月額158,000円以下の世帯
※高齢者のみの世帯、障がいのある人がいる世帯、18歳以下の人がある世帯、妊婦がいる世帯については月額214,000円以下の世帯

- ②転勤や結婚などのために現に住宅に困っている人
③申込者および同居しようとする入居者が暴力団員でないこと

(2) みなし特定公共賃貸住宅(中堅所得者層を対象とし、優良な住環境を提供するための住宅)

- ①入居しようとする世帯全員の所得総額が月額158,001円以上487,000円以下の世帯
②次のいずれかに該当する人
・満40歳以下の人
・満41歳以上で親族と同居して入居する人、または1年以内に親族と同居を予定している人
・勤務状況などにより親族との同居が困難な人
③申込者および同居しようとする入居者が暴力団員でないこと。

◆必要書類(郵送は不可となりますので、次の提出先までご持参ください)

- ①入居申込書(市営住宅管理センター、市役所住宅政策室で配布。市営住宅管理センターホームページからもダウンロードできます。)
②入居希望者全員の**本籍およびフリガナが記載された住民票**(市役所市民課発行)
③18歳以上(高校生を除く)の入居希望者全員の**課税証明書(令和8年度)**(市役所市民課発行)
④障害者手帳などの写し(障がいのある人)
⑤**納税証明書**…滞納があった場合、入居者を選考する際に、著しく不利な取り扱いとなります。
※取得する際には税目ごとではなく、「滞納がないことを一括で証明する内容」と窓口でお話してください。(市役所市民課発行)

◆提出先…陸前高田市営住宅管理センター(指定管理者:株式会社長谷川建設)

〒029-2205 陸前高田市高田町字西和野200番地

常時募集
しています

これまでの定期募集で入居者が決まらなかった空き部屋については、**申込期間を定めずに、常時申し込みが可能**となっています。
申し込みが可能な部屋については、市営住宅管理センターホームページをご覧ください。また、その他の詳細につきましては、次の問い合わせ先へご確認ください。

問い合わせ先 陸前高田市営住宅管理センター ☎0192(47)5180 または 市役所住宅政策室住宅政策係(内線482)

立教大学陸前高田サテライト通信

本年も、岩手大学と立教大学の合同授業を、8月24日(月)から28日(金)までの5日間で実施しました。
今年のフィールドワークに参加したのは、岩手大3人、立教大9人の計12人の学生です。その他にも、教員4人と手伝い1人を加え、総勢17人での活動となりました。
授業では、12人の学生が3つのグループに分かれ、それぞれ担当地区を決定。今回は、あえて対象地区を狭く設定し、地域を徹底的に理解することを目指しました。また、今回は市社会福祉協議会に準備を担当していただき、小友町でのフィールドワークが実現しました。同協議会会長が町内の受け入れ先として3カ所を選んでくださり、学生たちは限られた地区内を何度も歩いて回りました。学生たちは、地域の皆さんのご自宅にも上げていただくなど、すっかり打ち解けて交流を深めることができた様子です。
立教大の学生は、各学部からこの授業のためだけに集まっており、岩手大学との関係もない中での活動でしたので、なかなか大変な環境であったと言えます。しかし、「小友町をどう理解するべきか」という大きな疑問と、大学の単位になることが大きな原動力になったように思います。

岩手大学・立教大学合同授業
立教大学陸前高田サテライト長
松山 真



発表の準備



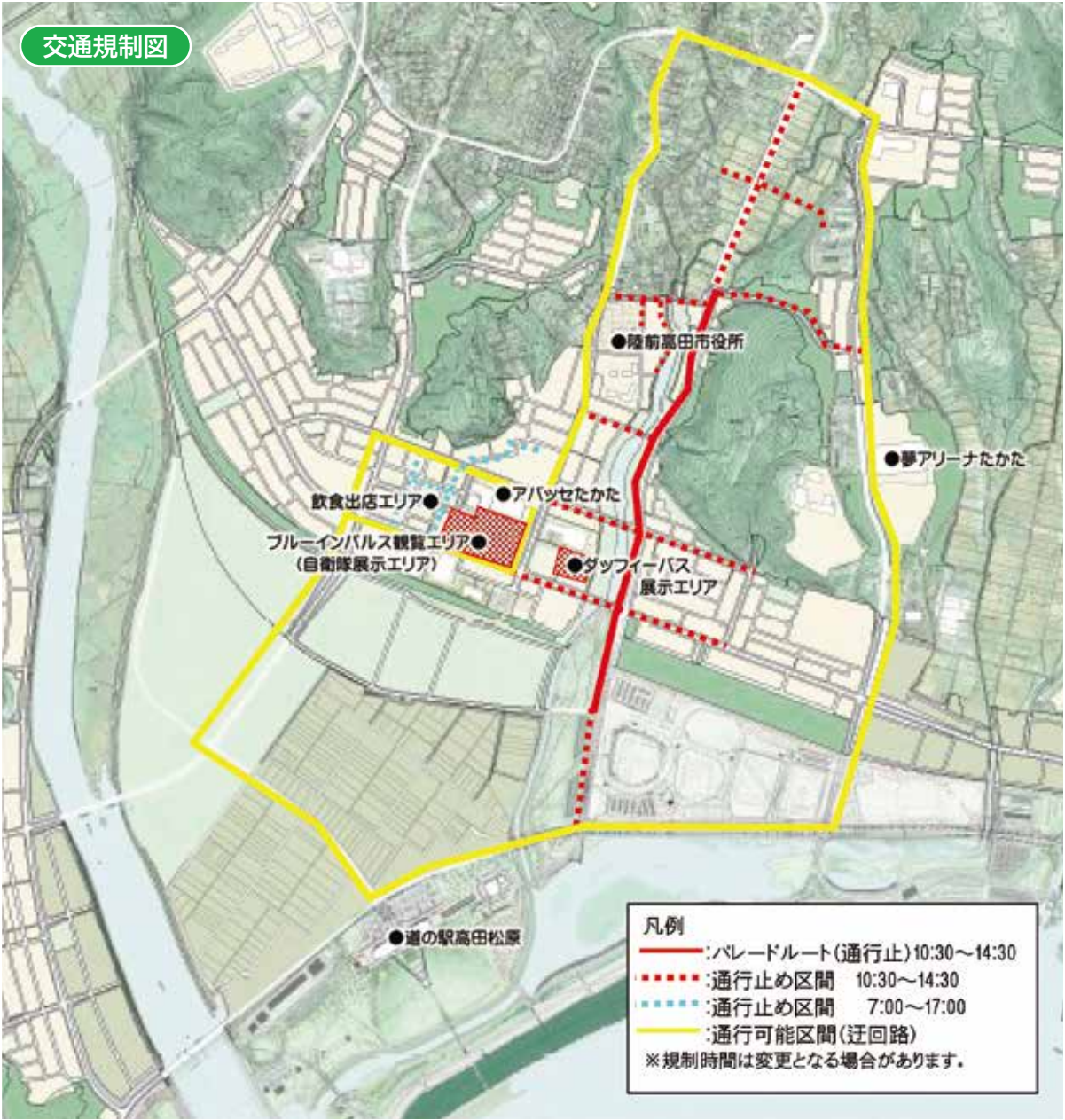
地域を歩く

▼**今年のテーマ**
今年のテーマは「生活の移り変わりを聴き取る」です。学生たちは3日間、担当地域での活動に専念し、最終日にはその成果をまとめて、社会福祉協議会や小友町の方々に向けた報告会を開催しました。
Aグループが担当したのは、新田地区です。ここは小友駅のある地域であり、駅が出来る前から住んでいる人や同地域に長く住んでいる皆さんに話を伺いました。気仙大工が建てた大きな家にお堂も建っていて、生活の中に信仰があることを知りました。

Bグループは、唯出地区を担当しました。海とともにある生活が実際に浮き彫りになったほか、小友のお祭りを4年に1回開催する神社もあり、聴き取りを通して、この地区と立教大学との新たな関わりもできてきています。
Cグループは、両替地区です。海の近くにはもう誰も住んでおらず、山の手に暮らす人たちがいました。ここは実際の居住区域と地名が異なる場所であり、初めて訪れた学生にとっては理解の難しい背景もあったようです。
本活動を通して、とても書き切れないほどの手厚いもてなしを受けました。自宅に訪問させていただいたのは、全部で15軒になります。小友町の皆さん、本当にありがとうございました。
▼**今後の考え方**
一つの地域を知ることが、やがては陸前高田全体を知ることにつながるかもしれません。今後も数年をかけて地道に活動を続け、陸前高田の具体的な姿をより深く学んでいく所存です。事前学習・当日学習・事後学習と段階を重ねることで、陸前高田のさまざまな側面を明らかにしたいと考えています。もちろん、これまでご縁のあった地域との交流も継続していく予定です。こうした取り組みを通じて、陸前高田へ足を運ぶ学生をさらに増やしていくのが私たちの願いです。来年はどの地域で受け入れていただけるか、今から楽しみです。

問い合わせ先 立教大学陸前高田サテライト事務局 ☎03(3985)4967 メール rrs@rikkyo.ac.jp

当日はアバッセたかた周辺で大規模な交通規制が行われます。アバッセたかた駐車場は前日の営業終了後から当日の午後2時30分まで利用できません。会場付近に住んでいる人やアバッセたかたを利用する人にはご迷惑をおかけしますが、県政事業へのご協力を願います。



東京ディズニーリゾート® スペシャルパレード実施について

東京ディズニーリゾートを飛び出したディズニーの仲間たちが、夢と笑顔をお届けするために、「岩手県政 150 周年記念パレード」に参加しパレードを行います。ディズニーの仲間たちは「ジャンボリミッキー！」の軽快な音楽にあわせ、ジャンボリミッキー！にちなんだお揃いのシャツを着た地元の子もたちと一緒にパレードを盛り上げます。また、ダッフィーのぬいぐるみと同じ生地で車体をラッピングした特別仕様のバス「ダッフィーバス」を展示します。今回のダッフィーバスには「東京ディズニーシー 25 周年“スパークリング・ジュビリー”」の開催を記念し、東京ディズニーシーで会えるダッフィー＆フレンズが青色さがしに出発する様子が描かれた「ダッフィー＆フレンズのファインド・ユア・ビューティフル・ブルー！」のデザインが施されています。ふわふわの車体に触れたり、一緒に写真撮影をしたりしてお楽しみください。



※画像はイメージです。

問い合わせ先

岩手県ふるさと振興部ふるさと振興企画室 ☎019 (629) 5215
市役所商工観光課 (内線421)

岩手県政 150 周年記念パレードを開催します

岩手県の県政 150 周年を記念し、復興の姿を県内外に発信する「岩手県政 150 周年記念パレード」が市内で開催されます。市民の皆さんも多彩なプログラムに見て・触れて・感じて 150 周年を一緒にお祝いしましょう。

- ◆日時：11 月 8 日(日)午前 9 時～午後 4 時
- ◆場所：シンボルロード（市道曲松中和野線）約 1 キロメートル
- ◆プログラム

内 容	時 間	場 所
オープニングアトラクション ・気仙町けんか七太鼓	午前11時15分～11時20分	シンボルロード
パレード第1部 ・けんか七太保存会 ・県政 150 周年 P R 隊 ・大船渡市笹崎鹿踊り ・キッズダンサーズ ・盛岡さんさ踊り など	午前11時30分～正午	シンボルロード
パレード第2部 東京ディズニーリゾート® スペシャルパレード	正午～午後0時30分	シンボルロード
ブルーインパルス飛行	午後2時～午後2時30分	アバッセたかた駐車场上空
ダッフィーバス展示	午前10時～午後4時	奇跡の一本松ホール駐車場
飲食出店	午前10時～午後4時	まちなか広場周辺

駐車場

大規模イベントのため、駐車場は事前予約制となっております。
10 月 9 日(金)からシステムより予約してください。

予約は
こちら





電子投票の操作方法

タブレット画面に表示される案内に従って操作します。操作に不安がある場合は、投票所の係員にお尋ねください。

1 選挙選択画面
(1回目)

投票したい選挙を選択してください。

2 投票者選択画面

投票したい人の名前を選択してください。「選択せず投票」を押すと白票を投票できます。

3 投票内容確認画面

選んだ人の名前が表示されます。下のいずれかを押してください。
・選んだ人に間違いがなければ『投票する』
・選び直したいときは『選び直す』

4 投票終了画面

下の画面が出たら投票終了です。次の画面に変わるのをお待ちください。

5 選挙選択画面
(2回目)

投票していない選挙を選択してください。その後の操作①から④までは同じです。

6 投票終了画面

下の画面が出たら全ての投票が終了です。係員の指示に従って退出してください。

※体験会の日時・会場などは、導入業者決定後に改めてお知らせします。
なお、令和8年度陸前高田市産業まつりで、体験ブースを設置する予定です。

問い合わせ先 市役所選挙管理委員会(内線532)

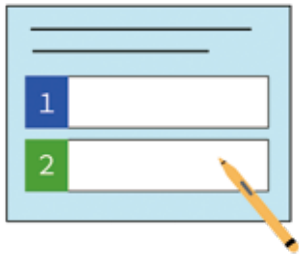
投票所での投票方法が電子投票に変わります



令和9年2月7日執行予定の陸前高田市市長選挙および陸前高田市議会議員補欠選挙から、投票所における投票方法が紙の投票用紙による投票から、タブレットを使用する電子投票に変わります。

候補者名を「書く」投票から画面で「選ぶ」投票へ

電子投票では、受付後、投票記載台に設置されたタブレットを使用して投票します。画面に表示された候補者名を専用のペンで選び、内容を確認して投票します。操作方法是係員がご案内します。



投票方法はどのように変わるのか

これまでの投票

投票用紙に候補者名を記載し、投票箱へ入れる。

これからの投票

タブレット画面で候補者名を選び、投票する。

電子投票の主な特徴

候補者名の記載は不要です

画面に表示される候補者名を選択するため、投票用紙に氏名を書く必要がありません。

一つの記載台で投票できます

複数の選挙が同時に行われる場合も、移動せず同じ投票記載台で続けて投票できます。

迅速な集計が可能になります

投票結果を電子的に集計することで、従来より迅速な開票につながります。

電子投票の対象について

原則として、期日前投票所と当日の投票所では電子投票を行います。ただし、点字投票、不在者投票など、一部の投票は紙による投票となります。



よくある質問

通信やハッキングの心配はありませんか

電子投票機は、法律により通信回線に接続しないこととされています。インターネットなどの外部ネットワークには接続されないため、外部から操作される心配はありません。

操作に不安がある場合はどうなりますか

導入業者の決定後、各地区で実際の機器を使用した体験会を実施する予定です。また、投票所では係員が操作方法をご案内します。

※国政選挙、県知事、県議会議員選挙は従来どおり紙による投票です。

◆森林環境譲与税を活用した令和7年度事業

市では、森林環境譲与税を有効に活用し、適切な森林整備の促進などにつながる取り組みとして令和7年度に次の事業を実施しました。

なお、詳細は市ホームページにて公表しています。

事業名	事業内容	事業費
林業総務事務事業	航空レーザーによる高精度な森林測量データの取得、森林クラウドシステム利用料など	2,072万3,894円
市有林管理事業	道路の通行を確保し、家屋などの被害を未然に防ぐため、市有林の倒木や支障木を除去したもの	146万3千円
地域木材利用促進事業	地元木材のPRと木育の推進のため、乳幼児の誕生祝い品として木のおもちゃを贈呈したもの	18万7,550円
林道管理事業	林道の除草や冬期の除雪、老朽化した林道味米線「味米橋」の補修工事など	2,418万8,600円
森林病虫害等防除事業	松くい虫などの被害拡大防止に向けた、私有林の被害木処理への補助	805万5千円
林業振興支援事業	林業事業体における新規雇用や林業機械の購入、私有林の再造林や下刈り、シカ被害対策への補助	239万5千円
市有林造成事業	植栽した若い苗木の生長を促すため、市有林における下刈り業務を実施したもの	251万3,600円
合 計		5,952万6,644円



地元材で製作したおにぎり型の木のおもちゃ



補修工事を実施した林道味米線の「味米橋」



「森林環境税」についての税金に関する詳細はこちら



「森林環境譲与税」についての使途に関する詳細はこちら

問い合わせ先 市役所税務課市民税係 (内線111・112・113)

問い合わせ先 市役所農林課林政係 (内線472)

森林環境譲与税を活用して森林整備の促進や木材利用などを進めています



◆森林環境税の創設の趣旨

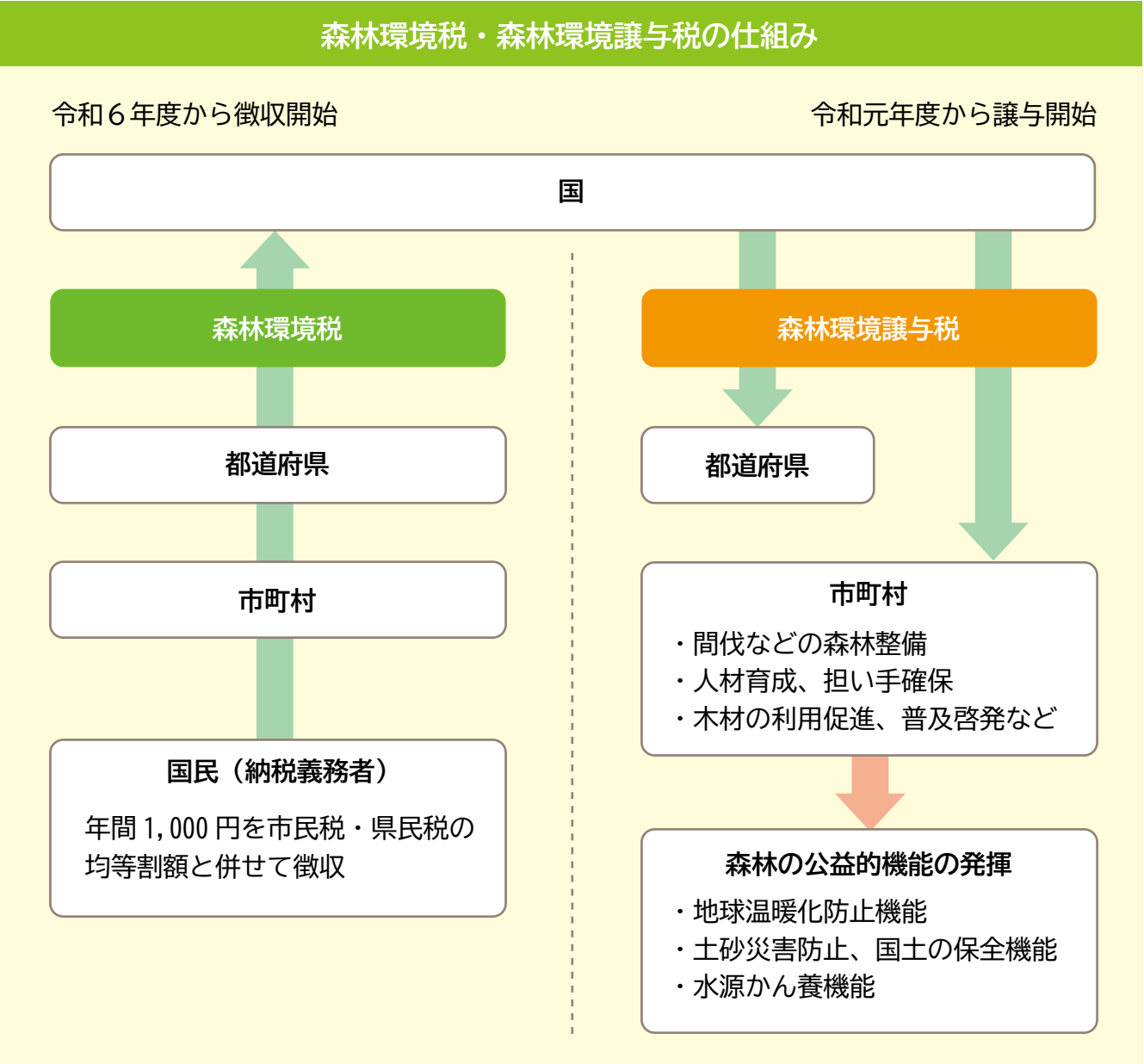
森林は、木材の供給のみならず、温室効果ガスの削減や土砂災害の防止、水源のかん養などの機能を有し、私たちに広く恩恵を与えています。そのため、適切な森林整備などを進めていくことは、私たちの命や暮らしを守ることにつながります。

このような森林の機能が将来にわたって健全に発揮されるよう、森林整備などに必要な地方財源を安定的に確保する観点から、「森林環境税」と「森林環境譲与税」が創設されています。

◆森林環境税と森林環境譲与税

「森林環境税」は、令和6年度から国内に住所を有する個人に対し、1人あたり年額1,000円が課税される国税であり、市民税・県民税の均等割額と合わせて市が徴収しています。

この税収は、「森林環境譲与税」として、市町村において間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発などの「森林整備およびその促進に関する費用」に充てることとされ、国から都道府県や市町村に譲与されます。



インフルエンザ予防接種および新型コロナウイルス感染症
予防接種費用を助成します

◆対象：インフルエンザ

高齢者	・接種日現在、65 歳以上の人 ・接種日現在、60 歳～64 歳で心臓、腎臓または、呼吸器機能、免疫機能に障がいのある人（身体障害者手帳 1 級程度）
子ども	・接種日現在、生後 6 カ月～中学 3 年生

新型コロナウイルス感染症

高齢者	・接種日現在、65 歳以上の人 ・接種日現在、60 歳～64 歳で心臓、腎臓または、呼吸器機能、免疫機能に障がいのある人（身体障害者手帳 1 級程度）
-----	--

◆実施期間：令和 9 年 1 月 31 日(日)まで

◆助成額：インフルエンザ 2,000 円／回

新型コロナウイルス感染症 8,000 円／回

※医療機関で、助成額を差し引いた額をお支払いください。

※生活保護受給世帯の高齢者は全額助成となります。

◆接種回数：インフルエンザ 13 歳未満：2 回（2～4 週間の間隔をあける）
13 歳以上：1 回

新型コロナウイルス感染症：1 回

◆市内の接種医療機関（事前予約が必要です）

医療機関名	住 所	電話番号	高齢者	子ども	予 約
鳥羽医院	小友町字西下60	0192(56)2663	○	3 歳以上	電話 (午前8時～11時30分、 午後2時～4時)
広田診療所	広田町字前花貝222-2	0192(56)2515	○	小学 3 年生 以上	電話・窓口 (窓口:午前8時30分～正午 午後 2 時～4 時30分) (電話:午後 2 時～4 時30分)
二又診療所	矢作町字愛宕下31	080(9253)1581 0192(58)2220	○		電話・窓口 (午後 1 時30分～4時30分)
済生会陸前高田診療所	気仙町字中井194	0192(22)7515	○	中学生以上	電話 (午前8時30分～午後4時) (水・土曜日は休診)
希望ヶ丘病院	高田町字大隅 8-6	0192(53)1019	○		電話 (午前 9 時～午後 4 時)
鵜浦医院	高田町字鳴石22-9		○		窓口 (午前8時～11時30分、 午後2時～4時)
松原クリニック	高田町字中田69-2		○	13歳以上	窓口 (午前10時～午後4時)
県立高田病院	高田町字太田512-2		○	○	窓口 (午前 9 時～午後 4 時)

※大船渡市、住田町および宮城県気仙沼市の医療機関でも接種できます。一部、実施していない医療機関もありますので、事前に医療機関へお問い合わせください。また、それ以外の医療機関で接種する場合は、事前に市役所保健課健康推進係までご連絡ください。

※予約および接種の開始時期などは、各医療機関により異なりますので、直接お問い合わせください。

◆持ち物：医療保険の資格がわかるもの（マイナ保険証など）、身体障害者手帳（60～64 歳の人）、母子健康手帳（子ども）



東日本大震災 15 年復興祈念感謝式・
陸前高田市市制施行 70 周年記念式典を開催します

市では、東日本大震災から 15 年を迎え、これまでの復旧・復興を支えていただいた国内外の皆様に変更感謝を伝えるため、本感謝式を開催します。

また、市制施行 70 周年という節目を機に、これまでの市政の歩みを振り返り、先人のたゆめぬ努力と本市の発展に尽力された皆様への感謝を表するとともに、次世代へ継承するまちづくりへの決意を新たにするため、本記念式典を開催します。

市民の皆様も式典に参加することができます。入場は無料ですが、整理券が必要となります。

◆日時：11 月 7 日(土)

①東日本大震災 15 年復興祈念感謝式 午前 9 時 30 分～10 時 30 分

②陸前高田市市制施行 70 周年記念式典 午前 11 時 30 分～午後 0 時 30 分

◆会場：奇跡の一本松ホール

◆内容：①感謝状贈呈、復興祈念メッセージ、復興祈念公演 など

②記念映像、オープニング：気仙町けんか七太鼓（気仙小学校）、市制施行 70 周年記念メッセージ・記念表彰 など

◆司会：俳 優 村上弘明 氏

◆出演：声楽家 菅野祥子 氏（①のみ）

整理券の配付

◆配付期間：10 月 19 日(月)午前 8 時 30 分～20 日(火)正午

◆場 所：市役所 1 階市民交流スペース

◆配付枚数：1 人につき 3 枚まで



問い合わせ先 市役所企画政策課政策広報係（内線332）

津波避難訓練を行います

市では、東日本大震災クラスの津波を想定した津波避難訓練を実施します。

当日は、緊急地震速報や大津波警報などの訓練放送を、防災行政無線や緊急速報メールなどで発信します。地震の揺れから身の安全を確保した後、最寄りの避難場所や高台などへ速やかに避難してください。

訓練終了後には、サイレンを鳴らしますので、東日本大震災で亡くなられた方々への黙とうにご協力をお願いします。

◆日時：11 月 1 日(日)午前 11 時～11 時 30 分



昨年の避難訓練の様子

問い合わせ先 市役所防災課（内線703）

木材住宅等の新築・リフォームにぜひ地域材の活用を！



市では、地域材の利用拡大と林業振興を図るため、気仙管内で伐採された木材を利用して木造住宅などを新築・増改築する人に補助金を交付しています。

本年度から対象範囲を拡充し、補助金を増額しましたので、新築や増改築を検討中の人はぜひご活用ください。

◆交付対象経費

地域材を1立方メートル以上使用して、市内に延べ床面積が10平方メートル以上の木造住宅（共同住宅、建売住宅などを除く。）、店舗、事務所、納屋、倉庫および車庫を新築または増改築する場合に要する経費。

◆補助金額

地域材使用量1立方メートルに対し4万円（上限25立方メートル100万円）

詳細は
こちら



問い合わせ先 市役所農林課林政係（内線474）

岩手沿岸南部クリーンセンターの大規模改修工事を行っています



岩手沿岸南部クリーンセンターは、シャフト炉式ガス化溶鉱炉により、ごみを1,700～1,800℃の高温で溶かして安定処理しています。処理時に出るスラグは建築資材に、メタルは重機の部品に再利用されるほか生じた余熱は高効率発電などに最大限活用されています。

◆基幹的設備改良事業

本センターは、稼働15年による設備劣化に伴い、令和8年度から令和11年度までの4年間で大規模改修工事を実施します。本工事により施設の長寿命化を図るとともに、二酸化炭素の排出量を抑制し、脱炭素社会の実現へ取り組みます。

◆工事概要

- ①老朽化対策：古くなった設備を更新します。
- ②長寿命化対策：施設を長く利用するための補修を行います。
- ③二酸化炭素削減：環境に優しい最新の設備を導入し、CO2排出量を5%削減します。

◆二酸化炭素削減に向けた取り組み

- ①溶鉱炉を改良し、燃料消費量を減らします。
溶融炉では、ごみを高温で処理するために石炭コークスを使用しています。基幹的設備改良事業では、溶融炉内の耐火物構造の見直しや羽口（送風管）の改良を行い、燃料消費とCO2排出量を削減します。
- ②発電設備を更新して、発電量を増やします。
蒸気タービン発電機を高効率なものに更新します。さらに熱分解ガスを処理する燃焼室やボイラーの耐火物を更新することで発電量を増やし、CO2排出量を削減します。
- ③最新設備の導入により、電力消費量を減らします。
各種モーターや空調設備を高効率化し、空気圧縮機の低動力化、照明をLEDへと交換・更新することで施設内の使用電力量とCO2排出量を削減します。



岩手沿岸南部クリーンセンター



改造する溶鉱炉



電動機を効率化する機械



更新する発電機

岩手沿岸南部クリーンセンターから

工事期間中は、一般ごみの直接搬入やごみ収集事業者の持ち込みを制限せず、通常のごみ処理を行う予定です。

なお、工事の進捗状況やごみ処理の状況によって、皆様のごみの受け入れ制限や入浴施設の開放中止などご不便をおかけすることがあります。

その場合は、ホームページなどでお知らせしますので、ご理解とご協力をお願いします。

詳細は
こちら



問い合わせ先 岩手沿岸南部広域環境組合 ☎0192 (27) 7020

秋のクマにご注意ください！



クマは、冬場の冬眠に備え、秋に食べ物を求めて活発に行動します。引き続き厳重な注意が必要になりますので、被害に遭わないよう、次のことにご注意ください。

クマと遭わないために

- ・出没情報のあったところや、クマの餌となる実（どんぐり、栗、柿など）がなるところにはなるべく近づかない。
- ・早朝、夜間は遭遇する可能性が高くなるので、注意する。
- ・鈴、拍手、大声、ラジオ、笛など、大きな音を出して自分の存在を知らせる。
- ・車庫のシャッターや小屋の戸を閉め、鍵をかける。
※クマは、人の気配を察知すると、すぐに逃げ込める建物に隠れることがあります。
また、小屋の中の燃料や漬物にも引き寄せられますので、しっかり戸締まりをしましょう。



クマを引き寄せていませんか？

- ・収穫後の農作物、家庭の生ごみは野外に放置しない。
- ・庭先の収穫しない柿や栗などは放置しないで早めに取り除く。
- ・家の周囲でハチの巣を見つけたら早めに取り除く。



もしも、クマに遭遇してしまったら（近くにクマがいることに気がついた場合）

- ・落ち着いて、クマに背を向けずに、ゆっくりとその場から離れる。
- ・大声を出したり、走って逃げたりしない。
- ・攻撃されたら、両腕で顔や頭をカバーし、地面に伏せて防御する。



クマを見かけたら

市では、クマの出没に関する情報を収集しています。クマを目撃したとき、または被害があったときには、「①いつ、②どこで、③何頭、④大きさ、⑤進行方向」などの情報を市役所農林課へご連絡ください。

問い合わせ先 市役所農林課林政係（内線473）

放任果樹伐採等補助金をご活用ください



市では、クマによる人身被害を未然に防止するため、クマを誘引する恐れのある放任果樹を伐採する経費の一部を助成しています。詳しくは市ホームページをご覧ください。

◆対象果樹：次の①～③の全てに該当するもの

- ①家屋の周辺など人の生活圏にある果樹
- ②管理ができず放置されている果樹
- ③クマを誘引するおそれのある果樹（例：栗・柿・クルミなど）

◆対象者：次の①～③の全てに該当する人

- ①伐採する放任果樹の所有者（または所有者から委任を受けた人）
- ②市内に住所を有する伐採業者に作業を委託する人
- ③市税などの滞納がない人

◆補助額：放任果樹の伐採や運搬、処分に要する経費の2分の1以内の額（本数に関わらず1件あたり上限10万円）

◆その他：所有者から委任を受けた人が申請する場合は、委任状が必要です。

詳細は
こちら



問い合わせ先 市役所農林課林政係（内線473）

音声訳ボランティア養成講座の参加者募集



市社会福祉協議会では、視覚に障がいのある人などへの情報アクセシビリティの向上および障がい者福祉の充実を図るため、音声訳技術を有する地域ボランティアの養成を目的に、音声訳ボランティア養成講座を開催します。

音声訳とは、「視覚」からの情報を得ることが難しい人のために、文字などを「音声」に換えて提供する活動のことを指します。
本講座では、大船渡市で活動する「音声訳オープンハート」が講師となり、音声訳の専門的な技術指導を受講できる貴重な機会となっていますので、興味のある人はぜひご参加ください。

- ◆日時：全2回
 - ① 11月4日(水) 午後1時30分～3時
 - ② 11月11日(水) 午後1時30分～3時
- ◆場所：奇跡の一本松ホール ルーム1
- ◆対象者：市内に住所を有する人
- ◆定員：10名程度（先着順・要事前申込）
- ◆申込方法：申し込みフォームまたは電話（☎0192(54)5150）で受け付けています。
- ◆申込期限：10月30日(金)

申し込み
はこちら



問い合わせ先 市社会福祉協議会 ☎0192(54)5150 市役所福祉課福祉係(内線212)



家庭教育講座 受講生募集！

市では、保育者が心にゆとりを持つ時間を作ることで、子どもとのコミュニケーションの時間を増やし、家庭教育の充実に役立てることを目的として家庭教育講座を開催しています。
新たな知識を吸収したり、親子で楽しく物づくりをすることで、子どもとのコミュニケーションの時間を増やし、充実したものとなるよう、ぜひこの機会に参加してみませんか。

「子どもへの声かけの仕方、寄り添い方」

講師：市教育委員会スクールカウンセラー 田口 那 宙

子どもと接する時に『どんな風に声をかけたら伝わるかな』と一度は考えたことがありませんか？ちょっとしたコツで、親子の会話がもっとスムーズに、子どもも親も前向きになる関わり方のヒントを一緒に見つけましょう♪

- ◆日時：10月27日(火) 午後7時～8時
- ◆場所：市コミュニティホール 中会議室
- ◆対象：子（孫）育て中の人、保育所（学校）・子育て支援関係者
※市内在住または市内に通学・通勤している人
- ◆費用：無料
- ◆募集人数：20人
- ◆申込期限：10月22日(木) 正午
- ◆申込方法：申し込みフォームまたは電話で受け付けします。
- ◆申し込み・問い合わせ先：市教育委員会教育総務課生涯学習・芸術係
☎0192(54)2111(内線554)



託児付き！（事前申込制）
★対象
小学3年生以下のお子さん

申し込み
はこちら



産業まつりを開催します



本市の魅力がたくさん詰まった「陸前高田市産業まつり」を本年も開催します。
新鮮な海産物や農産物をはじめ、本市の特産物が販売されるほか、ステージイベントや交流都市の出店もあります。
皆様のご来場をお待ちしています。

- ◆日時：10月24日(土)午前9時～午後3時（開会式：午前10時～）
10月25日(日)午前9時～午後3時
- ◆会場：まちなか広場周辺
- ◆内容：農業まつり（農産物の展示販売など）
林業まつり（木工作教室など）
水産業まつり（海産物の展示販売など）
商業まつり（市内商工業者による商品の展示販売、体験など）
各種催し（ステージイベント、餅まきなど）
交流・連携コーナー（名古屋市、武雄市、松阪市、川崎フロンターレ、岩手ビッグブルズ）



昨年の産業まつりの様子

※会場周辺は大変込み合いますので、なるべく低地部のメイン駐車場をご利用ください。
※会場周辺の民有地には絶対に駐車しないでください。駐車したことによるトラブルなどは、実行委員会では責任を負いかねます。

問い合わせ先 市産業まつり実行委員会(市役所商工観光課内 内線421・422)

恒久平和を願い

戦没者追悼式を開催します



市では、先の大戦で、犠牲となられた戦没者の御霊を慰めるとともに世界の恒久平和を祈念するため、戦没者追悼式を開催します。

- ◆日時：10月29日(木)午前9時30分～
- ◆場所：市コミュニティホール シンガポールホール
- ◆対象：戦没者のご遺族の皆さま
- ◆式典の形式：無宗教・献花方式
- ◆その他：式典終了後、市遺族会主催の遺族のつどいを開催します。

問い合わせ先 市役所福祉課福祉係(内線211)

『JICA 海外協力隊グローバルプログラム』が終了しました

8月25日(火)、JICA海外協力隊候補生3人による「グローバルプログラム最終報告会」が、市役所で行われました。候補生は、6月18日(休)から約2カ月半、認定特定非営利活動法人 S E T を拠点に地域活性化の取り組みを実習し、集大成として石渡副市長はじめ市関係者にご協力いただいた市民の皆さん約50人を前に、成果と感謝を伝えました。

多文化共生への歩み寄り

しみずたくと 清水拓人さんは、市国際交流協会による日本語教室での自身の企画実践などを通じて、「違いがあっても互いに歩み寄れる関係性」の大切さを学び、派遣予定先のザンビア共和国での意気込みを語りました。

協力と共創の実践

東ティモール民主共和国に派遣予定の^{おがわ}小川りょうなさんは、S E T の民泊事業サポートや外国人留学生とのサウナイイベントなどでの協働、日本語教室での自身の企画実践を通じ、多くの関係者と協力して物事を一緒に進める大切さを報告しました。

地域との関係づくり

ベナン共和国に派遣予定の^{いちかわのぞみ}市川希さんは、民泊受入れ時のノウハウをまとめた「おらほの民泊知恵袋」の作成や高田町うごく七夕まつり、下矢作灯籠七夕への参加を通じ、地域に認められる関係性が活動の土台になると語りました。

発表後、石渡副市長から「陸前高田を忘れず活動を続けてほしい」と温かいねぎらいの言葉が送られました。

3人は、9月8日(火)から11月19日(休)まで、福島県二本松市または長野県駒ヶ根市にある JICA 青年海外協力隊訓練所で派遣に向けて語学を中心に訓練を行い、年内に順次派遣予定です。



SDGs

Sustainable Development Goals

その先の笑顔のため、いまでできること

★SDGsとは…

自分の子どもや孫たちが暮らす未来に、住み続けられる世界を残すため、掲げられた全世界の人が取り組むべき17の目標。

あなたもぜひSDGsに取り組んでみませんか？

本市は、令和元年(2019年)7月に「SDGs未来都市」に県内で初めて選定されました。本コーナーでは、本市でSDGsの達成に向け積極的に取り組んでいる人・団体、関連イベントなどを紹介しています。



おおばやし たかのり
陸前高田しみんエネルギー株式会社 代表取締役 **大林孝典** さん

◆普段の仕事の内容を教えてください

陸前高田しみんエネルギー株式会社は、本市で生まれた地域の新電力会社です。地域内で経済を循環させ、支え合う社会をつくること、そして豊かな自然環境を未来につなぐことを目指し、再生可能エネルギーの導入促進や電力販売に取り組んでいます。現在は、太陽光発電の一種である「ソーラーシェアリング」や、ホテルへの薪ボイラー導入など、地域の資源を生かした再生可能エネルギーの普及を進めています。



しみんエネルギーの皆さん

◆SDGsに関する主な取組内容を教えてください

電力事業で得た収益を地域や社会に還元するため、「グリーンスローモビリティ(モビタ)」の運営をはじめ、子どもたちの居場所づくりを支援する「みんなでいっしょに食堂」や「たかた☆ゆめキッチン」の運営補助、ポット式根域制限栽培によるブルーベリーなどの果樹栽培、視覚に障がいのある人のために広報紙を読み上げる「つばきの会」の活動支援などにも取り組んでいます。

◆SDGsに関する取り組みの展開、目標などがあればお聞かせください

本市は、2050年のカーボンニュートラル実現を目指しています。弊社では、その実現に向けて地域の再生可能エネルギーをさらに増やすとともに、地域のエネルギーを地域で使う「エネルギーの地産地消」を進めていきたいと考えています。現在、市内の電力需要に占める弊社の供給割合は10数%ほどですが、今後はより多くの市民や事業者にはばれる電力会社となり、その割合を100%に近づけることを目標にしています。

◆これからの陸前高田市をどんなまちにしていきたいですか

電気料金は、国際情勢などの影響を受けて変動します。自分たちで再生可能エネルギーを増やし、地域の人たちが電力を選ぶことで、社会情勢に左右されず、自分たちの暮らしを守ることができます。弊社が掲げる10年ビジョンは、「エネルギー自立」を、高田暮らしの当たり前に。エネルギー自立を、本市のまちづくりの象徴として、地域の中核を担う企業を目指しています。



ブルーベリー収穫祭



営農型太陽光発電

陸前高田しみんエネルギー株式会社についてはこちら



公式Instagram



公式HP

1人分

エネルギー 106KCal
食塩相当量 0.9g

チャプチェ

オススメ!

今月のおすすめレシピ

彩り野菜を組み合わせ華やかに

作り方

- ①豚挽肉をAの調味料で漬け込む。
- ②ピーマン、パプリカ、玉ねぎ、ニンジン、生椎茸を千切りにする。
- ③春雨を茹で、水気を切り、適度な長さに切る。
- ④フライパンでごま油を熱し、①の豚挽肉を入れて炒める。さらに、②を加えて炒める。
- ⑤③の春雨、Bの調味料を加えて炒め合わせる。

材料 (4人分)

春雨	25g		酒	小さじ1
ピーマン	50g	A	砂糖	大さじ1/2
赤パプリカ	20g		濃口醤油	大さじ1/2
黄パプリカ	20g		おろしにんにく	3g
玉ねぎ	40g		おろししょうが	3g
ニンジン	20g		ごま油	小さじ1
生椎茸	35g	B	濃口醤油	大さじ1
豚挽肉	80g		砂糖	小さじ1
			塩・こしょう	少々



仲間と共に ■ 声援を力に駆け抜ける

第24回気仙地区中学校駅伝競走大会



気仙地区中学校駅伝競走大会兼岩手県中学校駅伝競走大会予選会が、9月1日(火)、高田松原運動公園で開催され、気仙地域2市1町の中学生が公園内に設けられた周回コースを駆け抜けました。

男子は6区間15.6キロメートル、女子は5区間11.5キロメートルをたすきでつなぎ、選手たちは仲間の思いを胸に力走。出場者の中には、区間新記録を達成する選手も見られ、日頃の練習の成果を発揮していました。

女子の部では、高田第一中学校が見事4連覇を達成し、高田東中学校も2位に入る健闘を見せました。男子の部では、高田第一中学校が2位に入り、高田東中学校の選手たちも仲間の声援を受けながら、最後まで粘り強い走りを見せました。

コースの外からは、チームメイトや関係者から選手に向けて盛んに声援が送られ、選手たちはその声を力に変え、苦しい場面でも最後まで諦めることなく競技に挑み、会場は一体感に包まれていました。



力走する選手たち
仲間の声援を受けて



大会結果

順位		学校名	記録
女子	優勝	高田第一中学校	46分43秒
	2位	高田東学校	47分23秒
男子	2位	高田第一中学校	53分44秒
	5位	高田東学校	54分56秒

ひたむきに挑戦 ■ 日頃の練習の成果を発揮

第6回陸前高田市・住田町 小学校陸上記録会



本市と住田町の合同による小学校陸上記録会が、9月18日(金)に県立野外活動センター多目的運動広場で開催されました。

当初、本記録会は16日(水)に開催を予定していましたが、天候に恵まれず延期。18日は一転して、風が少し強い中ではありましたが、好天に恵まれ、選手たちは日頃の練習の成果を発揮し、自己記録の更新に挑みました。



自己ベストへ挑む児童たち

記録会結果 市内小学校の上位1人を掲載

種目		氏名(学校)	記録
男子	5年100m	おいかわはると 及川陽大(広田)	16秒7
	5年800m	こんの ぜん 金野 禅(米崎)	2分50秒6
	6年100m	きんの かんた 金野 敢太(米崎)	15秒3
	6年800m	つかだかずま 塚田和真(米崎)	2分39秒0
	ジャベリックボール投げ	きくやいつしん 菊谷一心(米崎)	46m72
	走り高跳び	ほそやきく 細谷咲空(米崎)	1m24
	4×100mリレー	気仙小学校	1分00秒0
		むさいたいせい まくちあおま かわしまちひろ むらかみそう 武蔵敦晴、菊地蒼馬、川岸倫大、村上奏	
		米崎小学校	1分00秒0
		なおいえいと きんの かんた つかだかずま くまがいはやと 直井瑛、金野敢太、塚田和真、熊谷勇人	
女子	5年100m	うえのりこ 上野 莉子(小友)	16秒4
	5年800m	こいずみえれん 小泉笑蓮(米崎)	3分02秒8
	6年100m	むらかみりお 村上莉桜(広田)	16秒0
	6年800m	こばやしあやの 小林彩乃(気仙)	2分47秒9
	ジャベリックボール投げ	おぎわらゆず 荻原唯瑞(横田)	31m20
	走り高跳び	ささきみゆ 佐々木心結(気仙)	1m15
	4×100mリレー	高田小学校	1分03秒9
		かんのこはる きんのれみ よしのあかね しらいしゆはな 菅野心陽、金野玲海、芳野茜、白石夢花	

絆深める交流

■ フロンターレU-15の選手が修学旅行で本市を訪れました



フロンターレアカデミー陸前高田修学旅行&交流試合

市と友好協定を結ぶ川崎フロンターレのU-15所属の中学1年生37人が、8月21日(金)から23日(日)までの3日間、高田フロンターレスマイルシップ事業として本市を訪れました。

本市に訪れた選手たちは、3日間の滞在中、東日本大震災津波伝承館などの見学や講話を通じて震災



ボールを競り合う両チームの選手

について学んだほか、ふろん田でののかし作りやりんご園の訪問など、本市の自然を生かしたアクティビティを体験しました。また、上長部グラウンドで行われた交流試合には、川崎フロンターレのほか、陸前高田・大船渡の合同チーム「FC ALTAKA」など複数のジュニアユースチームが参加し、サッカーを通じて親睦を深めました。

交流試合に参加した金野蒼奨さん(高田一中3年)は「普段できない相手との試合で経験になった。今日出た課題を練習から意識して、リーグでの勝利を目指します」と振り返っていました。

防災を身近に

■ 見て・触れて・体験して高める防災意識



消防・防災フェスタ2026

市民が「見て」「触れて」「体験」することで防災意識の向上を図る「消防・防災フェスタ2026」を、8月23日(日)にアバッセたかた前の多目的広場で開催しました。

会場では、自衛隊車両や消防車両、パトカーなどが展示され、消防車両を活用した乗車体験や、子ども用の消防服を着用して行う放水体験には、多くの家族連れが列を作りました。



放水体験を楽しむ来場者

また、今回は自衛隊が初参加し、特殊車両の展示や温かいカレーの炊き出しを行い、来場者との交流を深めました。その他にも、博物館の屋上では県の防災ヘリによる降下訓練が実演され、来場者は上空へ熱い視線を送っていました。

会場を訪れた小金山さくらさん(横田小5年)は「救急車に乗れて楽しかった。自衛隊のカレーもとてもおいしかったし、みんなかっこよかった」と目を輝かせていました。

海で観察会

■ 身近な海の豊かさを実感



海のいきものを探しに行こう!

海で生き物を探しながら、それぞれの特徴などを知る「海のいきものを探しに行こう!」が、9月12日(土)に県立野外活動センターや矢の浦漁港などで開催され、親子20人余りが参加しました。



生き物を熱心に観察する子どもたち

本イベントは、特定非営利活動法人陸前高田まちづくり協働センターが、令和5年に発行した『みんなで作ったたかたの教科書』を活用して企画。参加した子どもたちは、講師を務めた元海と貝のミュージアム職員のたかはしやすなりさんが捕まえたクサフグやシチセンスズメダイなどを興味深そうに観察し、生き物の特徴や生態を熱心にメモしていました。

参加者の岡田陽青さん(米崎小2年)は「魚はツルツル、貝は硬かった。普段見られない魚が見られて楽しかった」と振り返っていました。

慶 弔

(令和8年8月16日～9月15日届け出分)

※届け出人が希望した人のみ掲載
※氏名は通常字体で掲載

おめでた…()は保護者・字名

★男の子

高田 河野 陽 翔 (義希・森の前)

★女の子

米崎 津田 怜 架 (惇・糠塚沢)

藤丸 滯 音 (春樹・館)

お幸せに…()は字名

広田町 菅野直斗・吉田円香 (田端)

おくやみ…()は年齢・字名

矢作 長根 洋 子 (85歳・寺前)

梅木 篤 (61歳・飯森)

竹駒 浅沼 光太郎 (83歳・館)

佐藤 良 雄 (94歳・北平)

気仙 佐々木 松 子 (93歳・愛宕下)

菅野 リチ子 (98歳・愛宕下)

高田 村上 健太郎 (82歳・鳴石)

瀬川 ケイ子 (85歳・中和野)

西條 タヘ子 (94歳・東和野)

米崎 細谷 正 子 (90歳・川向)

千葉 充 子 (82歳・糠塚沢)

金野 新 二 (75歳・西風道)

小友 後藤 二三子 (96歳・西の坊)

及川 由起江 (66歳・唯出)

広田 村上 一 男 (62歳・大祝)

出羽 キミ子 (106歳・六ヶ浦)

村上 キヨ子 (97歳・後浜)

村上 静 (79歳・前花貝)

津嶋 勇 一 (77歳・黒崎)

数字で見る陸前高田市 (令和8年8月31日現在)

市内の火災救急活動

8月

()は1月からの累計

- ◆建物 0件 (2件)
- ◆林野・その他 0件 (0件)
- ◆出動件数 98件 (662件)
- ◆搬送人員 96人 (639人)

市の人口 (住民登録人口)

()は前月比 出生・死亡数は8月分

男 性 7,943人 (-14人)
女 性 8,584人 (9人)
計 16,527人 (-5人)
(出生3 死亡29)
世帯数 7,523世帯 (16世帯)

市内の交通事故

8月

()は1月からの累計

- ◆人身事故 3件 (12件)
- ◆物損事故 29件 (191件)
- ◆負傷者 5人 (16人)
- ◆死亡者 0人 (0人)
- ◆飲酒運転 1人 (2人)

地域包括支援
センター発

介護お茶のみ話 143



10月10日は「転倒予防の日」
高齢者の転倒事故に
注意しましょう！

高齢者の転倒・転落は骨折や頭部外傷などの重大な傷害を招き、これらが原因で要介護状態になることも少なくありません。

身近にある転倒リスクを考え、転倒ゼロを目指しましょう。

◆転倒の主な原因は？

①加齢による身体機能と認知機能の低下

加齢に伴い筋力やバランス能力などの身体機能が徐々に低下し、とっさにかばう動作が、素早く行えなくなります。

②病気や薬の影響

年を重ねると、複数の病気を抱え、何種類も薬を飲んでいる人も少なくありません。薬の作用・副作用によって、立ちくらみやふらつく症状が出るなど、転倒しやすい状態になっている場合があります。

③運動不足による身体機能の低下

日常的な身体活動が減少すると、運動機能や感覚機能が弱まり、その結果、転倒のリスクが高まります。

◆転倒リスクがある場所とは？

高齢者の転倒事故の多くは、

住み慣れた自宅で発生しています。東京消防庁によれば、およそ6割は自宅で転んでおり、具体的な場所は、居間・寝室、玄関、階段・廊下、浴室となっています。

◆転倒予防をしましょう

①自身に合った適度な運動を続け、体の機能の低下を防ぎましょう。

②浴室や脱衣所には、滑り止めマットを敷きましょう。

③寝起きや夜間のトイレなどで、ベッドから起き上がる時や体勢を変えるときは慎重にしましょう。

④段差のあるところや階段、玄関には、手すりや滑り止めを設置しましょう。

⑤電源コードが通り道にかからないように、電気製品を置きましよう。

⑥定期的に薬の種類と量を、主治医と薬剤師に相談しましょう。転倒予防を意識して、転倒を防ぎ、骨折による骨折を防ぎ、骨折から引き起こされる寝たきり・要介護の状態を防ぎ、はつらつとした生活を維持しましょう。

問い合わせ先

市地域包括支援センター(内線219)

536 保健だより

「秋からはじめる、体すっきり運動習慣」

さわやかな秋晴れが心地よく、体を動かすのに絶好の季節となりました。

日頃の運動不足は、高血圧や糖尿病などの生活習慣病につながる原因になります。無理のない範囲で、安全に楽しく健康的な運動習慣をスタートさせてみませんか。

◆運動のメリット

①血糖値や血圧を下げる
筋肉を動かすことで血液の中の糖が消費されます。また、血流がスムーズになり、血圧も安定しやすくなります。

②脂肪を燃焼し血管を守る

有酸素運動は内臓脂肪を減らし、血管の若々しさを保つこと(動脈硬化の予防)につながります。

③心と体を元気にする

骨や筋肉を丈夫にするだけでなく、脳がリフレッシュされてストレス解消にも効果的です。

◆おうちでもできる！3つの運動ポイント

「外を歩く時間がない」「天気が悪い」ときでも大丈夫。自宅で手軽にできる工夫を紹介します。

◆「ながら」で筋力アップ

歯磨きをしながら「つま先立ち」「テレビを見ながら「足踏み」や「ストレッチ」など、普段の暮らしに軽い動きを加えてみましょう。

◆すきま時間のスクワット

椅子から立ち上がる時、手を使わずにゆっくり立ち上がってみてください。これだけで立派な運動になります。家事の合間に5〜10回行うだけでも効果的です。

◆階段や段差の有効活用

自宅の段差を利用して、ゆっくり上り下りしてみよう。買い物や出かけ先でも意識して階段を選ぶと、日常が楽しいトレーニングに早変わりします。

◆仲間と運動を楽しむ

運動は、細く長く「継続すること」が大切です。「少し汗をかいて気持ちよかった」と思えるくらいが長く続ける秘訣です。誰かと一緒に、より楽しく続けられて心も弾みます。

市役所保健課では、ニュースポーツ教室やスポーツリズムトレーニングなども開催しています。「何から始めればいい?」など、どうぞお気軽にご相談ください。

問い合わせ先

市役所保健課健康推進係(内線234)



開催します

基本から一緒に学べる！

3回でわかる

健康マージャン教室

市では、みんなで楽しむ、健康マージャン教室を3回シリーズで開催します。

健康マージャンは、「飲まない・吸わない・賭けない」をルールにした、だれでも楽しめるマージャンです。頭と指先をしっかりと使うため、脳の活性化や仲間との交流、健康づくりなどにつながるものが注目されています。「マージャンは初めて」という人も大歓迎。ルールは講師が丁寧に教えますので、ご安心ください。みんなで楽しみながら、新しい生きがいづくりを始めてみませんか？

- ◆日時：①11月4日(水)②27日(金)③12月11日(金)④⑤ともに午後1時～3時
- ◆場所：市営住宅下和野団地①集会室②③市民交流プラザ
- ◆参加費：無料
- ◆定員：10名(先着・要予約)

- ◆対象：原則3回とも参加できる人(1回のみ参加を希望する場合は、申し込みする際に、ご相談ください。)
- ◆申込締切：11月2日(月)
- ◆申し込み・問い合わせ先：市役所保健課健康推進係(内線241)
- ◆あなただからできる寄り添い

市民後見人養成講座

社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会では、市民後見人養成講座を開催します。

市民後見人養成講座は、認知症や知的障がい、精神障がいなどによって判断能力が十分ではない人を、地域の身近な立場で支える「市民後見人」を育てるための講座です。

- 全3回の受講で、市民後見人として登録することができます。
- ◆日時：①11月6日(金)午後1時～午後4時50分②12月9日(水)午後1時～午後4時40分③23日(水)午後1時～午後4時10分
- ◆場所：①③大船渡市総合福祉センター②市コミュニティホール※場所は変更になる可能性があります。
- ◆内容：①後見概要、対象者理解(高齢者、障がいのある人)、対人援助の基礎②成年後見制度の基礎、関係制度・法律など、家庭裁判所の役割③成年後見の実務、振り返り
- ◆参加費：無料

岩手県福祉総合相談センター

岩手県里親大会

県と県里親会は、里親月間である10月に、県民への里親制度の普及啓発活動の一環として岩手県里親大会を開催します。興味のある人は、気軽にご参加ください。

- ◆日時：10月25日(日)午後1時40分～3時30分(受付：午後1時30分～)
- ◆場所：ふれあいランド岩手1階ふれあいホール(盛岡市三本柳8地割1-3)
- ◆内容：講演およびシンポジウム
- ◆申し込み・問い合わせ先：岩手県福祉総合相談センター ☎019(629)9604

岩手県立大学宮古短期大学部

蒼翔祭(大学祭)一般公開

岩手県立大学宮古短期大学部では、蒼翔祭を開催します。当日は、サークル・ゼミによる模擬店などを行います。

- ◆期間：10月31日(土)、(開場：午前10時～)
- ◆場所：岩手県立大学宮古短期大学部(宮古市河南一丁目5-1)

- ◆対象者：どなたでも参加可
- ◆申込：不要
- ◆問い合わせ先：岩手県立大

- ◆申込方法：来所、電話、FAXなどで受け付け
- ◆申込期限：11月4日(水)
- ◆申し込み・問い合わせ先：社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会 ☎0192(27)0001 FAX:0192(27)0800
- ◆救急法を学びませんか？
- ◆救急法基礎講習・救急法救急員養成講習

日本赤十字社岩手県支部が、市内で赤十字救急法基礎講習および赤十字救急法救急員養成講習を開催します。

手当の基本や一次救命処置を学ぶことができます。ぜひご参加ください。

- ◆日時：①基礎講習：11月21日(土)午前9時30分～午後1時30分②救急員養成講習：11月22日(日)23日(月)午前9時30分～午後5時30分
- ◆場所：市コミュニティホール集会室
- ◆内容：①手当の基本、人工呼吸や胸骨圧迫の方法など②日常生活における事故防止や止血の仕方、骨折などの場合の固定、搬送、災害時の心得など
- ◆対象：満15歳以上の人(救急員養成講習は基礎講習を修了していること)
- ◆費用：①1,500円②2,100円
- ◆定員：20名
- ◆持ち物：筆記用具・動きやすい服装

学宮古短期大学部事務局 ☎0193(64)2230

気仙沼線・大船渡線

BRTデジタルスタンプ

ラリー開催中

岩手県、宮城県およびJRR東日本盛岡事業本部では、岩手県沿岸南部と宮城県北部を縦貫する気仙沼線・大船渡線BRTの駅や沿線の観光施設などをラリースポットとした、デジタルスタンプラリーを開催しています。スタンプを集めて応募すると、岩手・宮城の地場産品詰め合わせやBRTオリジナルサイモタンブラーなどを抽選でプレゼントします。

- ◆開催期限：10月25日(日)まで
- ◆ラリースポット：【岩手県】①盛駅②おおふなぼー③碓石海岸口駅④大船渡市立博物館⑤陸前高田駅⑥陸前高田市立博物館⑦東日本大震災津波伝承館【宮城県】①気仙沼駅②ないわん③気仙沼「海の市」④南気仙沼駅⑤気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館⑥大谷海岸駅⑦南三陸ハマレ歌津⑧志津川駅
- ◆参加方法：①本イベントLINE公式アカウントを友達に追加②ラリースポットで二次元コードを読み込みスタンプを獲得・スタンプを集めて景品に応募
- ◆景品(かっこ内は必要スタンプ数)：①コンプリート賞①：気

募集します

作品募集！

はまつてかだつてみんなのでつくる作品展のお知らせ

誰かとおしゃべりをしたり、同じ時間を過ごしたりと、心が安心する日常のすべてのひとコマが「はまかだ」です。

家族や友達、地域の仲間と過ごして、楽しかったこと、うれしかったこと、ほっとした思い出を作品にして聞かせてください。どなたでも参加可能です！ぜひご参加ください。

- ◆テーマ：①小学生以下部門「わたしのはまかだ」②一般部門「おらはのはまかだ自慢」
- ◆作品の形式：①小学生以下部門：図画②一般部門：自由形式(絵画、写真、陶手芸作品、陶芸品など)
- ◆参加資格：誰でも参加可

- い服装(運動着が望ましい。スカート不可)※②救急員養成講習は、バスタオルまたは大きめのタオル2本、基礎講習修了証
- ◆申込期間：10月21日(水)～11月13日(金)
- ◆申込方法：電話または日本赤十字社ホームページから申し込み
- ◆申し込み・問い合わせ先：日本赤十字社岩手県支部事業推進課 ☎019(638)6310
- ◆大船渡保健所
- ◆自死遺族 公開講話・わかちあいの会

大船渡保健所では、家族や友人・知人など大切な人を自死で亡くされた人を対象として公開講話・わかちあいの会を開催します。

わかちあいの会は、大切な人を自死により亡くされた人が、相互に気持ちをわかちあう場です。公開講話のみ、わかちあいの会のみ参加も可能ですので、ぜひご参加ください。

- ◆日時：10月31日(土)公開講話：午後1時～午後2時、わかちあいの会：午後2時10分～午後3時40分
- ◆場所：大船渡地区合同庁舎2階 第2・3相談室(大船渡市猪川町字前田6-1)
- ◆内容：公開講話 講師 岩手県立一戸病院理事(岩手県精神保健福祉センター顧問 精神科医)

- ◆募集期間：11月2日(月)～30日(月)
- ◆応募方法：市内で配布しているチラシ裏面の応募シートに必要事項を記載の上、作品と一緒に保健課に提出(小学生以下の場合は、指定の面用紙を保健課から受け取ってください。)

◆チラシ配布場所：市役所保健課、市立図書館、夢アリーナほか、奇跡の一本松ホール、コミュニティホール、アバッセほか、マイヤアップロード店(市ホームページからのダウンロードも可)

◆審査：市健康づくり推進協議会にて審査を行い、入賞作品を3点程度選出。入賞者には賞状および副賞を贈呈。また、参加者全員に参加賞を贈呈(入賞者には12月下旬に通知予定)。

◆表彰：令和9年2月20日(土)に奇跡の一本松ホールで開催予定の「はまかだ交流会」健康づくり表彰式にて表彰。

◆問い合わせ先：市役所保健課健康推進係(内線236)

お知らせ

ふるつてご参加を

第20回横田あゆの里まつり

横田あゆの里まつり実行委員会では、次のとおりあゆの里まつりを開催します。皆さんのご来場をお待ちしています。

小井田潤一先生、わかちあいの会(自死遺族交流会)

- ◆対象：①家族・友人・知人など大切な人を自死で亡くされた人、②自殺対策に携わる関係機関の職員(わかちあいの会は①の人のみ参加可能)

- ◆費用：無料
- ◆申込方法：電話、FAX、メールで受け付け
- ◆申込期限：10月23日(金)
- ◆その他：詳細は県ホームページをご確認ください
- ◆申し込み・問い合わせ先：大船渡保健所保健課 ☎0192(27)9922

大船渡保健所

動物ふれあいフェスティバル

大船渡保健所では、動物ふれあいフェスティバルを開催します。なお、飼い犬のわんわん運動会としてつけ教室への参加には市町村への犬の登録と狂犬病予防注射が必要です。

- ◆日時：10月18日(日)午後1時30分～午後3時30分
- ◆場所：碓石海岸レストハウス前駐車場(大船渡市末崎町字大浜221-68)
- ◆内容：しつけ教室、犬猫の飼い方相談、わんわん運動会
- ◆参加費：無料
- ◆申込：不要
- ◆問い合わせ先：大船渡保健所 ☎0192(27)9923

- ◆日時：10月25日(日)午前8時45分～午後1時
- ◆場所：川の駅よこた
- ◆内容：①あゆ・地場産品販売②くいどころコーナー③無料サービスコーナーなど

◆問い合わせ先：横田あゆの里まつり実行委員会 ☎090(9532)2623

少しずらず、みんなの通勤

時差出勤で朝にゆとりを

一般国道45号大船渡合庁前交差点付近では、7時40分から8時20分ごろまでの朝の通勤時間帯に交通混雑が発生しています。朝の混雑で「なかなか進まないな...」と感じることはありませんか。混雑は通勤時間の増加だけでなく、運転時のストレスの要因にもなります。「少し時間をずらして出勤する」「ルートを変更する」一人一人の小さな工夫が交通の集中を分散し、混雑の緩和や、より安全で快適な通勤環境づくりにつながります。時差出勤や混雑箇所の回避など、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

- ※詳しくは二次元コードから確認してください。
- ◆実施期間：10月1日～31日(土)
- ◆問い合わせ先：国土交通省東北地方整備局南三陸沿岸国道事務所 ☎0193(29)1626

部活動の地域展開が始まっています

市公認「地域クラブ」の登録と補助金制度について

市では、少子化などにより学校単位での部活動の維持が難しくなるなか、子どもたちがスポーツ・文化活動を継続できる環境づくりを進めています。

地域展開とは

学校の枠を超え、地域団体が運営する市公認の「地域クラブ」で活動する仕組みです。部活動が担ってきた教育的価値を引き継ぎながら、地域の指導者や希望する教員などが活動を支えます。

登録するための主な要件

- 対象・構成：**市内の中学生が3人以上在籍し、かつ全体の3分の2以上であること
活動時間：平日2時間・休日3時間程度
休養日：週2日以上
活動場所：主たる活動場所は市内（複数市町の場合は気仙地区管内）
登録条件・その他
 保険加入、市主催研修会への参加（必須）、原則1競技1団体まで
申請方法：申請書を市教育委員会学校教育課へ提出。申請書のほかに、規約、代表者・指導者・役員名簿、加入生徒名簿などを添付

補助金について

認定を受けた地域クラブの活動経費を支援します。

限定活動型

週1～2日活動
上限25万円

（基本額175千円＋加入生徒数×5千円）

全日活動型

週3～5日活動
上限50万円

（基本額350千円＋加入生徒数×5千円）

対象経費

指導者謝金、施設使用料、保険料、備品・消耗品費、大会参加費、旅費・宿泊費、研修費、資格取得費 など

★地域クラブの登録・認定には、一定の基準があります。登録を検討している団体は、事前に次の問い合わせ先までご相談ください。

問い合わせ先

市教育委員会学校教育課（内線522）

地域クラブ通信

チーム名

✓ 種目：柔道

じゅんどうかん

順道館

団員17人

監督

おいかわ けんいち
及川 賢一 さん

スローガン

じゅんどうせいしょう
順道制勝

キャプテンからのコメント

✓ 高田第一中学校

✓ いわさき かずき
岩崎和季 さん（1年）

大会優勝を目指して、普段の練習では、スムーズに技をかけられるように繰り返すことを心掛けています。みんなで励まし合って頑張れるところが、自分たちのチームの強みです。

地域クラブとは・・・

学校部活動の地域展開に伴い、地域の団体や指導者などが主体となって、子どもたちのスポーツ・文化活動の機会を支える取り組みです。



団員を募集しています

事務局 菅野 かのん ☎ 090(2607)0423



※市内医療機関および金融機関等の事業所で、広報りくぜんたかたを購読希望の場合は左記発行元へご連絡ください。
 ※広報りくぜんたかた10月号（No.1220）の制作経費は1部108円（税抜き）、発行部数は7,250部です。